



Taka Ishii

Gallery

Kyoto

483 Nishigawa-cho Shimogyo-ku Kyoto
#600-8325, Japan

tel 075 353 9807

fax 075 353 9808

web www.takaishiigallery.com

email kyoto@takaishiigallery.com

立花英久塑像展

「僕はなぜ目を閉じてしまったのか」

ーレアリテと僕との間で ⑩ー

会期：2012年9月15日(土) - 10月13日(土)

同時開催：佐伯洋江 展 9月7日(金) - 10月13日(土)

タカ・イシイギャラリー京都では2012年9月15日(土)から10月13日(土)まで、立花英久の新作展を開催致します。

ものを作るのは、父と母からもらった左右の手である。父は左、母は右、といつのころからか、かつてに決めつけていた。

今年の五月に、父がいなくなりました。離れてくらしていたせいもあるが、しばらくはぴんときなかつた。けれども、ものを作りはじめてみると不意に手が止まってしまうのだった。ああ、ほんとうに父はいなくなってしまったのだな、と思いあたって、手は止まっているのだった。 立花英久

立花英久の作品は、土を捏ねて作る素焼から木彫まで、素材や手法が変化しながらも一貫した佇まいが印象に残ります。触ってみたときに手に伝わる感覚、長く伸びた像の影、その不思議な表情は、向かい合う人の気持ちに寄り添ったり遠のいたり、それぞれの心の像と結びついていくかのようです。このシリーズの発表は10回を超え、一つの節目を迎えた立花英久塑像展をぜひご高覧ください。

【立花英久 プロフィール】 1962年 広島県広島市生まれ。彫刻家、演出家。

主な展覧会歴

2009年 「さよならさよならさみの僕」ーレアリテと僕との間でー サボア・ヴィーブル (東京)

「応答せよ、応答せよ、と僕らはそれでも呼び続ける」ーレアリテと僕との間で②ー サボア・ヴィーブル

2010年 「サイハテ」ーレアリテと僕との間で③ー サボア・ヴィーブル

「立花英久の塑像展」あまねや工芸店 (福岡)

2011年 「カナシミ」ーレアリテと僕との間で④ー サボア・ヴィーブル

「どうぞ先に行ってください 私はこのままこうしていきたい」ーレアリテと僕との間で⑤ー 東青山 (東京)

「アイオイ」ーレアリテと僕との間で⑥ー アンカレット (広島)

2012年 「東京」ーレアリテと僕との間で⑦ー サボア・ヴィーブル

「ある夏の日 あなたは突然、」ーレアリテと僕との間で⑧ー 東青山

「フラニー」ーレアリテと僕との間で⑨ー アンカレット



© Hidehisa Tachibana, 2012

是非、貴誌・貴社にてご紹介下さいますよう宜しくお願い致します。

尚、掲載用写真の貸出など、ご質問がございましたら下記までお問い合わせ下さいませ。

【お問合せ先】タカ・イシイギャラリー京都（担当：安丸）

〒600-8325 京都市下京区西側町 483 番地（西洞院通 / 新花屋町通 西南角）

Tel: 075-353-9807 e-mail: kyoto@takaishiigallery.com

営業時間：11:00 - 19:00 定休日：日・月・祝祭日